

女性研究者研究活動支援事業(連携型) シンポジウム／ワークショップ レポート

女性研究者のグラスシーリングを破る～工学系女性研究者がいつそう輝ける社会に向けて～ シンポジウム／ワークショップを開催しました

芝浦工業大学は、お茶の水女子大学（代表機関）、物質・材料研究機構とともに文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」（2014～16年度）に取り組んできました。2016年12月10日（土）13:30～17:00、芝浦キャンパス802教室を会場に、連携事業の集大成として「女性研究者のグラスシーリングを破る～工学系女性研究者がいつそう輝ける社会に向けて～」をテーマに第1部：シンポジウム、第2部：ワークショップを開催しました。うち第2部：ワークショップは、IEEE JC WIE、一般社団法人技術同友会、一般社団法人情報処理学会、日本女性技術者フォーラムの後援、一般社団法人電子情報通信学会の協賛を頂き、芝浦工業大学が主催しました。

シンポジウム/ワークショップは、150名以上の参加者を得て、会場校を代表した村上雅人学長の開会挨拶で幕を開け、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長塩崎正晴氏より来賓挨拶を頂きました。続いて、前お茶の水女子大学長羽入佐和子氏の基調講演「女性研究者の活躍への期待」が行われました。女性研究者の研究活動支援が必要とされる背景、効果的な支援と環境整備のあり方、そして女性の進出・活躍がもたらす新しい視点や発想が社会を変える、と期待を述べられました。



▲ 基調講演：前お茶の水女子大学長羽入佐和子氏

第1部パネルディスカッション「連携の成果を次につなげる」

第1部パネルディスカッション「連携の成果を次につなげる」では、お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所塚田和美所長より3機関連携による事業の成果が、次いでお茶の水女子大学猪崎弥生副学長、芝浦工業大学村上雅人学長、物質・材料研究機構長野裕子理事より、各機関の取組みと成果が報告されました。これらの報告をもとに、パネルディスカッションでは成果をどのように今後の活動に繋げ、発展させるかについて議論が交わされました。



▲ 第1部パネルディスカッション「連携の成果を次につなげる」

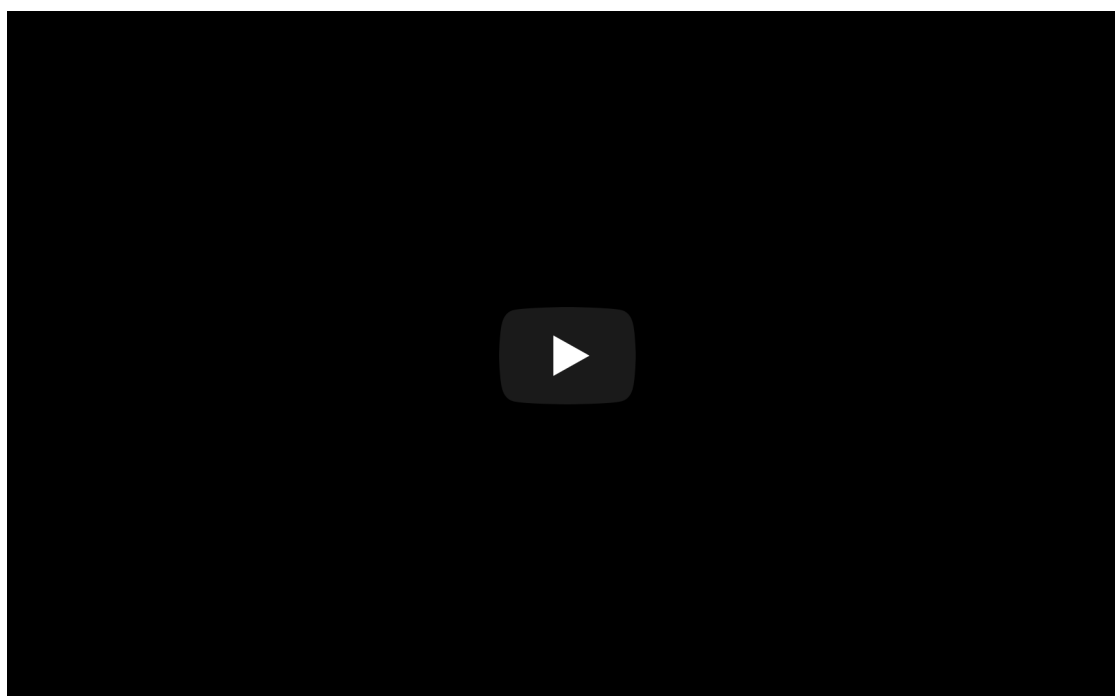
第2部ワークショップ「女性研究者のグラスシーリングを破る」

第2部ワークショップ「女性研究者のグラスシーリングを破る」では、まず三菱ケミカルホールディングスアメリカ社社長 ドナ・コスタ 氏によるビデオメッセージ“Breaking the Glass Ceiling”が上映され、グラスシーリング（“ガラスの天井”）を破るためにしてきたこと、リーダーになる/リーダーであるためにしてきたことを題材に、明解なメッセージと温かいエールを頂きました。

続くパネルディスカッションでは、ファシリテーターに昭和女子大学坂東眞理子理事長・総長をお迎えし、パネリストとして岩手大学菅原悦子理事・副学長、IEEE WIE 橋本隆子Chair、お茶の水女子大学室伏きみ子学長、芝浦工業大学國井秀子学長補佐の4名に登壇頂き、どのようにグラスシーリングを破ってきたか、グラスシーリングを解消していくための方策などが熱く語り合われました。



▲ ドナ・コスタ 氏によるビデオメッセージ



▲ ドナ・コスタ 氏によるビデオメッセージ“Breaking the Glass Ceiling”

参加者アンケートには、「『工学系』や『女性』に限らず、全ての（男女問わず、文理問わず）人に聞いてもらいたい、考えてほしい内容でした。」、「機関連携が数値目標達成に限らない効果を生むことがよく分かった。」、「男子学生にもっと聞いてほしかった。」、「華々しく活躍されている方々の考えや本音をうかがえ、とても有意義な会でした」などの感想が寄せられ、成功裡に会を終えることができました。

お問い合わせ先

**芝浦工業大学
男女共同参画
推進室**

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307（大宮キャンパス）

E-mail:desk-gequality@ow.shibaura-it.ac.jp